

オブジェクト倶楽部イベント2007夏 帰郷

# TPSコミュニティ・クロニクル

改善活動は人を変え、  
組織の壁を越える

2007年6月20日  
富士通(株) 和田憲明

資料公開に向けてコメントを加筆しました

# 本日お伝えしたいこと

- 行動すると情報が集まってくる
- 組織を越えて仲間が増える喜び
- 発表者を参加者が育てるということ
- 全ては現場の幸せのために
- そしていっしょに！！

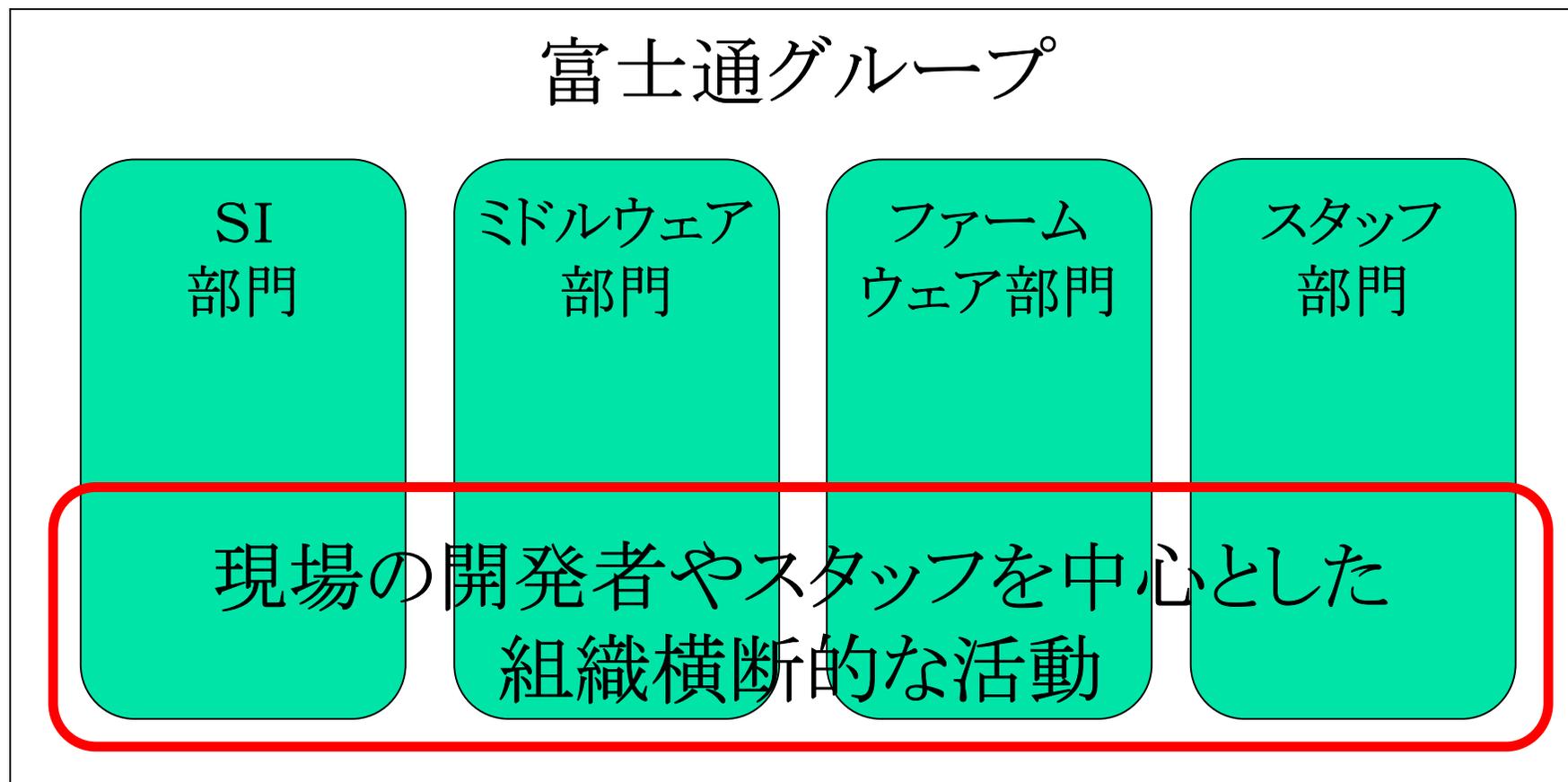


TPSコミュニティ  
ご紹介



# TPSコミュニティとは

- ・富士通グループ全体を対象



# TPSコミュニティとは

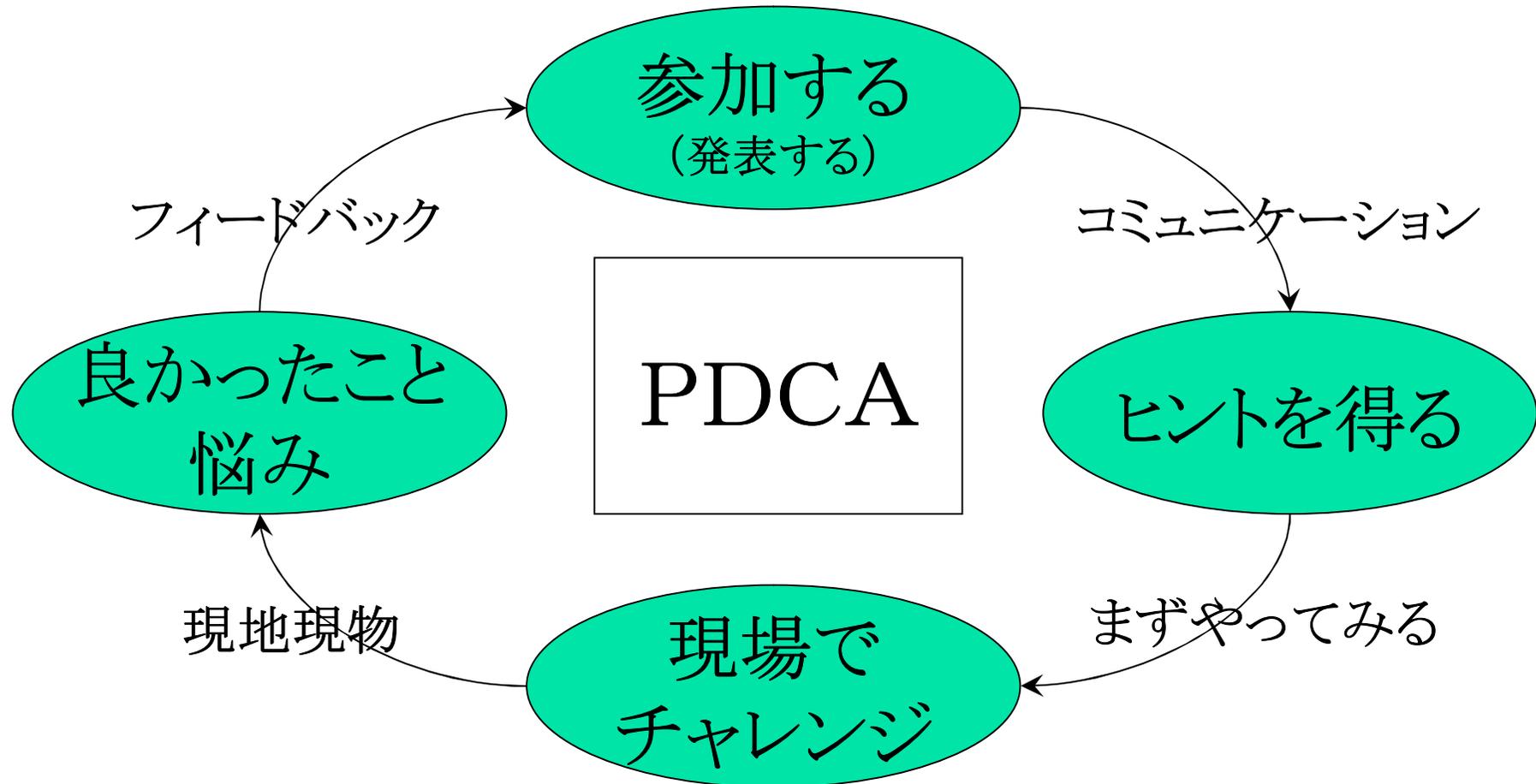
---

- TPS流の「カイゼン」がテーマ
- 草の根コミュニティ
- 主な活動は「事例発表会」

# カイゼン事例発表会

- ソフト開発や事務作業における  
草の根カイゼン事例の発表会
- 4ヶ月に一度開催  
これまで60以上の事例発表
- 様々な分野から発表あり  
(SI、ミドルウェア、ファーム、スタッフ)

# カイゼン事例発表会のカイゼンサイクル



最近のテーマは「見える化」



# カイゼン事例発表会 からの学び(運営側)

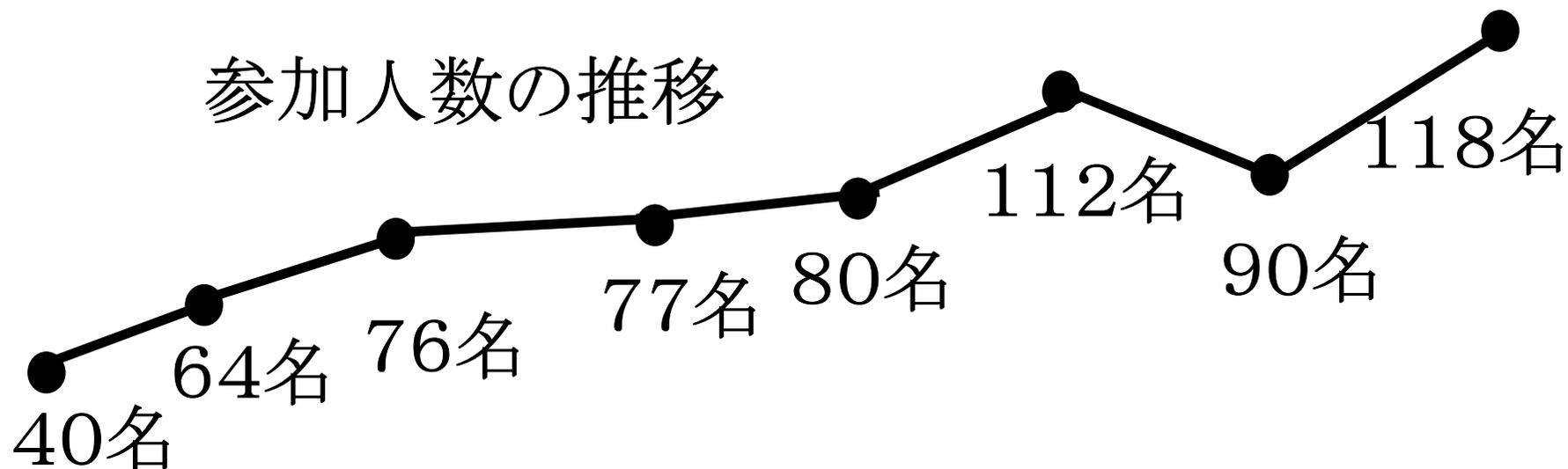


# カイゼン事例発表会の歴史

| 2005年 | 2006年 | 2007年 |
|-------|-------|-------|
|-------|-------|-------|

▲ SE向け「リーンソフトウェア開発」説明会(1月)

|      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|
| ▲    | ▲    | ▲    | ▲    | ▲    | ▲    | ▲    |
| 第0回  | 第1回  | 第2回  | 第3回  | 第4回  | 第5回  | 第6回  |
| (4月) | (9月) | (1月) | (5月) | (9月) | (1月) | (5月) |



# 「リーンソフトウェア開発」説明会(05年1月)

内容

翻訳者(平鍋健児氏)による  
「リーンソフトウェア開発」説明会

行動

組織横断の連絡網を活用  
終了時に次回を宣言

結果

参加者が予想以上に多かった  
質疑応答が盛り上がった

# 「リーンソフトウェア開発」説明会(05年1月)

## 平鍋さん

学び

アジャイル開発に興味あり  
活用できるものはたくさんある  
次回の宣言重要(自分を追い込む)

### 【追記】

- 平鍋さんの講演は現場のIT技術者全般にとっても響きますのでキックオフにお勧めです。
- 多くのIT技術者はアジャイル開発に興味を持っていて、書籍やサイトなどで情報収集をしています。
- メーリングリスト、掲示板、社内講習会での案内など、活用できるものはどんどん活用しましょう。
- 単発の講演会／セミナーではなかなか仲間が見つかりません。事例発表会の開催を宣言してみませんか？

# 第0回カイゼン事例発表会(05年4月)

内容

SEの組織的な改善事例の発表会  
(講演1、事例6)

行動

「TPSコミュニティ」と命名  
様々なルートから発表者に依頼  
アンケートは「紙」(大きな感想欄)

結果

SE部門以外からも参加多数

# 第0回カイゼン事例発表会(05年4月)

## まず行動する

学び

行動すると情報が集まってくる  
アンケートは運営側の大きな励み  
(紙のアンケートがお勧めです)

### 【追記】

- いろいろな人に連絡をしてみましょう。
- 「事例発表会に向けて事例を探しています」という用件は、会話のきっかけになります。
- アンケートに感想をたくさん書いてくれた人には個別に連絡してみることをお勧めします。

# 第1回カイゼン事例発表会(05年9月)

内容

草の根事例中心の事例発表会  
(講演2、事例8)

行動

失敗事例、本音トークを依頼  
(自分が聞きたいと思う発表)

結果

SE部門以外の発表が多くなった  
失敗事例の発表に共感した人が  
多かった

# 第1回カイゼン事例発表会(05年9月)

学び

数値よりも「心の叫び」

組織を越えて仲間が増える喜び  
熱意あるのみ

## 【追記】

- ・「発表者の想いが聴衆の想いと共鳴した時」に、初めて参加者の行動に繋がります。
- ・「自分自身が聞きたい事例」という観点を重視することが大切です。
- ・発表の依頼は、まずは直接現場の方々へ「良い事例なので発表して欲しい」と伝えましょう。
- ・仲間が増えると本当に嬉しいですよ。

## 第2回カイゼン事例発表会(06年1月)

内容

草の根事例中心の事例発表会  
(事例8)

行動

ワールドカフェ[WC]実践  
幅広い年齢層の発表者  
事例は自ら探す

結果

WCで盛り上がる参加者に感動  
1年目/2年目のペアプロ好評

# 第2回カイゼン事例発表会(06年1月)

## ワールドカフェ！！

学び

自分が聞きたい事例を重視  
フレッシュな発表は身近に感じる

### 【追記】

- ・オブジェクト倶楽部のような「熱心な方々の集まり」ではないところでもワールドカフェは十分成立しました。
- ・それ以来、組織での発表会などの行事の中にもミニ・ワールドカフェを盛り込む試みをしています。
- ・若手育成は多くの組織の課題であり、若手の積極的で元気な発表は組織を元気づけます。

## 第3回カイゼン事例発表会(06年5月)

内容

草の根事例中心の事例発表会  
(事例9、LT4)

行動

ライトニングトークス[LT]実践  
社外コミュニティなどで発表者探し

結果

LTは盛り上がった  
社員食堂での懇親会が  
23時10分に終了

# 第3回カイゼン事例発表会(06年5月)

学び

## LT！！

頑張っている人はたくさんいる  
懇親会での熱いコミュニケーション

### 【追記】

- ・ライトニングトークスは、気軽かつまじめに発表できる場としてとてもバランスが取れていると思います。
- ・内容は、事例発表、最新技術紹介、改善提案、趣味の紹介など、多彩な方が楽しいと思います。
- ・懇親会では、スピーチタイムは極力少なくし(乾杯と終了程度)、コミュニケーションタイムを重視しています。
- ・懇親会は着席形式がお勧めです。30～45分程度で定期的に席替えします(笛の使用を推奨)。
- ・幹事が一番話に夢中になってしまいがちです(経験より)が、定期的に各テーブルをケアしてください。

## 第4回カイゼン事例発表会(06年9月)

内容

草の根事例中心の事例発表会  
(招待講演1、事例12、LT7)

行動

テーマを決めた。「カイゼン2.0」  
アンケートを参加者に公開  
懇親会への参加呼びかけ

結果

内容の濃い発表  
懇親会参加者が倍増

# 第4回カイゼン事例発表会(06年9月)

学び

## 角谷さんの講演！！

良いものはどんどんアピールする  
手書きアンケートの公開は好評

【追記】

- ・角谷さんの講演はスタッフ部門の方々にも響きました。→ アジャイルマインド！！
- ・懇親会は本音で語れる重要な場ですので積極的に参加を呼びかけましょう。
- ・アンケートはその場で書いていただける「手書き」がお勧めです。

## 発表内容の難易度が上がりすぎた

【追記】 かんばん、朝会、ふりかえり、ニコカレなどの用語が普通に発表資料に登場するようになり、初めて参加した方々から「よくわからない」という感想をいただくようになりました。



## 手書きアンケート(全体)

ととも勉強になった気がします。

又、カイベン活動を続けて行くエネルギーチャージできました。  
ありがとうございました。

カイベン活動は楽しいものだと再認識しました。

自プロジェクトでカイベン活動がうまくいっていないので、  
いいモチベーションアップとなりました。

# 第5回カイゼン事例発表会(07年1月)

内容

草の根事例中心の事例発表会  
(事例8、LT10、ワークショップ4)

行動

2トラック構成。  
初心者向けのワークショップ併設。

結果

2トラック構成は参加者が迷う  
参加者減少(正月明けの翌週)  
ワークショップが80分では短い

# 第5回カイゼン事例発表会(07年1月)

学び

メインの事例発表は1トラックで。  
ワークショップ形式の人気の高い。  
懇親会にもっと出てほしい。

お祭りなんだ！！

# KAIZEN Festa

## 【追記】

- ・事例発表会から始めたイベントですが、懇親会やワークショップも欠かせないものとなってきました。
- ・遠地の参加者から「懇親会を途中で切り上げて帰るのは悔しい…」という意見ももらいました。
- ・そこで、2日制とし、事例発表会(午後)→懇親会(夜)→ワークショップ(午前)という形式にしました。
- ・同時に「お祭り」という位置づけにして、イベント名を改名しました。

## 第6回カイゼン事例発表会(07年5月)

内容

「カイゼンフェスタ」と改名  
(事例8、LT10、ワークショップ<sup>4</sup>)

行動

2日制とし、遠地からの人も  
懇親会に参加しやすい構成  
レベルアップのためのワークショップ

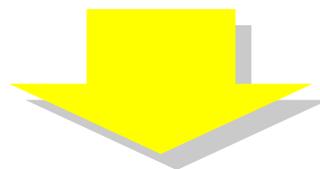
結果

参加者が増えた  
2日目のワークショップは多様

# 第6回カイゼン事例発表会(07年5月)

学び

フレッシュな活動を紹介する4事例が  
「朝会、かんぱん、ふりかえり」  
(アンケートに「内容が重複している」という感想あり)



参加者が発表者を育てる

## 【追記】

- ・フレッシュな活動に「朝会、かんぱん、ふりかえり」の発表が多いというのは、プロジェクトファシリテーションの有効性(共感、始めやすさ、効果の体感)を物語っています。
- ・参加者の方々は「会社の仲間が良い活動をしていること」を誇りに思い、拍手を送り懇親会で声をかけましょう。

# TPSコミュニティから学んだこと

- 「改善」は分野を越えて人をつなぐ。
- コミュニティの仲間は「人財」(財産)
- 事例の交流で相互の気づき
- 育てるという意識

全ては現場の幸せのために

## 番外編

---

天野さんのセミナーは人を動かす

「ふりかえりセミナー」(半日コース)

その他、たくさんの秀逸なアイデア！

ぜひ一度ご体験を！！

## 最後に

---

みなさんも社内で「コミュニティ」を  
立ち上げましょう！！

かならず共感してくれる人達  
が見つかると思います。

---

そしていっしょに！！

# 見える化倶楽部!?

2007年××月××日 開催

みんなで盛り上がりたいです。

【追記】 IT業界全体で各社のカイゼン事例を発表しあい、ワールドカフェで情報交換する場を作りましょう！！